

第56回滋賀県芸術文化祭主催事業

The 80th SHIGA ART EXHIBITION

第80回 滋賀県美術展覧会

会 場 滋賀県立美術館 TEL077-543-2111 〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1740-1

会 期 平面・立体・工芸・書 = 令和8年12月9日(水)～12月16日(水) (全部門を一期開催)

◇入場料：無料 ◇月曜日休館 ◇開館時間：9時30分～17時

【審査員による講評会】 ※参加無料 事前申込不要 講評会の講師は変更場合があります。

12月13日(日)

【書(後藤啓太)・工芸(河田昌之)】 10時00分～ 会場：展示室3(書)、ギャラリー(工芸)

【平面(山河全)・立体(中原浩大)】 14時15分～ 会場：展示室2・3(平面)、ギャラリー(立体)

《作品募集》.....

滋賀県美術展覧会は、広く県民の皆さんが日頃の創作活動の成果を発表する場、また、身近に芸術を鑑賞する場となることを目指し、滋賀県芸術文化祭の主催事業として毎年開催しているものです。この歴史ある美術展覧会に、あなたもぜひご応募ください。

部門ごとに作品搬入(受付)場所を指定しています。詳しくは下記をご確認ください。

作品搬入 【平 面 ・ 書のみ】 令和8年11月27日(金)、11月29日(日) 場所：滋賀県立障害者福祉センター 小アリーナ(草津)

【立 体 ・ 工 芸のみ】 令和8年11月28日(土)、11月29日(日) 場所：滋賀県立美術館 搬入口(県美)

【平面・立体・工芸・書】 令和8年11月28日(土) 場所：滋賀県立文化産業交流会館 パスポートセンター前(米原)

※搬入時間≪いずれも10時30分～12時・13時～16時≫ 12時～13時は受付しません

※組み立てを要する、壊れやすい、重量物等、取り扱いが難しい立体・工芸作品は県立美術館へ搬入してください。

作品返却 【立 体 ・ 工 芸のみ】 令和8年12月19日(土) 場所：滋賀県立美術館 搬入口(県美)

【平面・立体・工芸・書】 令和8年12月19日(土) 場所：滋賀県立文化産業交流会館 パスポートセンター前(米原)

【平 面 ・ 書のみ】 令和8年12月20日(日) 場所：滋賀県立障害者福祉センター 小アリーナ(草津)

※返却時間≪いずれも10時30分～12時・13時～16時≫ 12時～13時は受付しません

・搬入された会場で作品返却を行います。返却日以外の返却はできません。都合が悪い場合は、あらかじめ運送業者などに委託されるようお願いします。取りに来られない場合は委託業者から着払いで作品を返却することとなります。

問い合わせ 滋賀県芸術文化祭実行委員会事務局 (公財)びわ湖芸術文化財団 びわ湖芸術文化交流センター/BIWACC内

〒520-0806 大津市打出浜14-30 Oh!Me大津テラス2階

TEL 077-523-7146 FAX 077-523-7147 ※ホームページには「よくあるお問い合わせ」を掲載しています。

E-mail geibunsei@biwako-arts.or.jp https://www.pref.shiga.lg.jp/menu/26188.html

◆主 催 滋賀県/滋賀県教育委員会/滋賀県芸術文化祭実行委員会/(公財)びわ湖芸術文化財団

◆後 援 朝日新聞大津総局/京都新聞/産経新聞社/中日新聞社/日本経済新聞社大津支局/毎日新聞大津支局/読売新聞大津支局/

共同通信社大津支局/時事通信社大津支局/KBS京都/NHK大津放送局/BBCびわ湖放送/ radio エフエム滋賀 (順不同)

◆協 力 滋賀県美術協会 ◆協 賛 公益財団法人木下美術館

【重要なお知らせ】

●会期が一期開催となりました。

●出品料の支払い方法が変更となりました。別添の「払込取扱票」に必要な事項を記入のうえ、10月1日から11月25日までにお支払いください。「振替払込請求書兼受領書」を出品申込書の裏面に貼り付け、作品とともに搬入日にお持ちください。

●生成AIを使用した作品は出品できません。

●審査結果の発表はホームページのみで行い、郵送による通知は行いません。

●ホームページ内の「よくあるお問い合わせ」を必ずご確認ください。

作品の搬入・返却および鑑賞にあたっては、滋賀県のホームページなどで事前の確認等をお願いいたします。

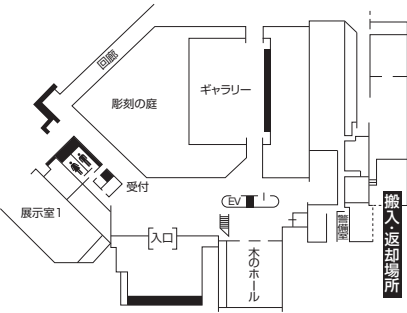
滋賀県立美術館への車両乗り入れは非常に混雑します。小さい作品は駐車場から徒歩での搬入出にご協力願います。

美術展全般については



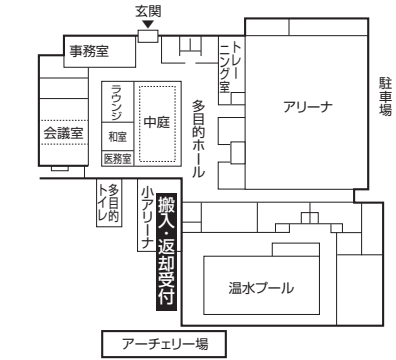
作品搬入・返却会場案内

〈滋賀県立美術館〉



(大津市瀬田南大萱町1740-1)

〈滋賀県立障害者福祉センター〉 〈滋賀県立文化産業交流会館〉



(草津市笠山8丁目5-130)

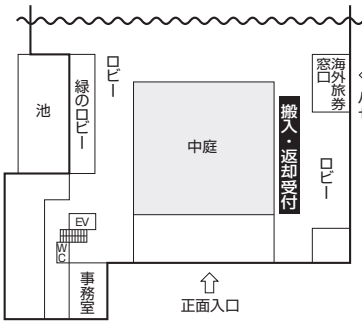
※搬入・返却は、小アリーナで行います。正面玄関に入って、左手奥になります。

第80回 滋賀県美術展覧会

会 期 令和8年12月9日(水) ~ 12月16日(水)
(全部門を一期開催)
◇入場料：無料 ◇月曜日休館
◇開館時間：9時30分～17時

会 場 滋賀県立美術館
TEL077-543-2111 〒520-2122
大津市瀬田南大萱町1740-1

【審査員による講評会】
※参加無料 事前申込不要
◇12月13日(日)
【書(後藤啓太)・工芸(河田昌之)】
10時00分～会場：展示室3(書)、
ギャラリー(工芸)
【平面(山河全)・立体(中原浩大)】
14時15分～会場：展示室2・3(平面)、
ギャラリー(立体)

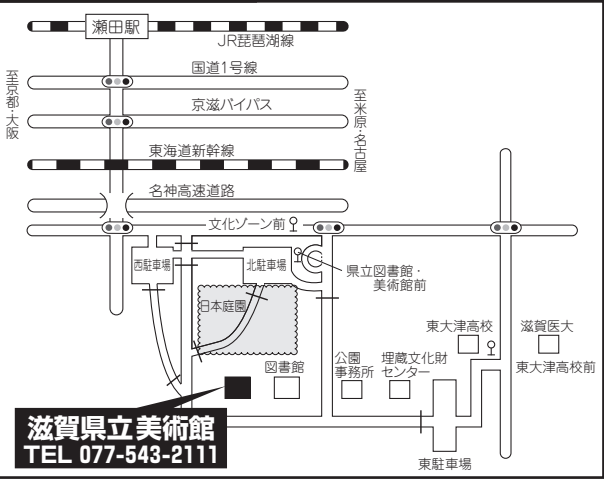


(米原市下多良2-137)

※搬入・返却はバスポートセンター前で行います。

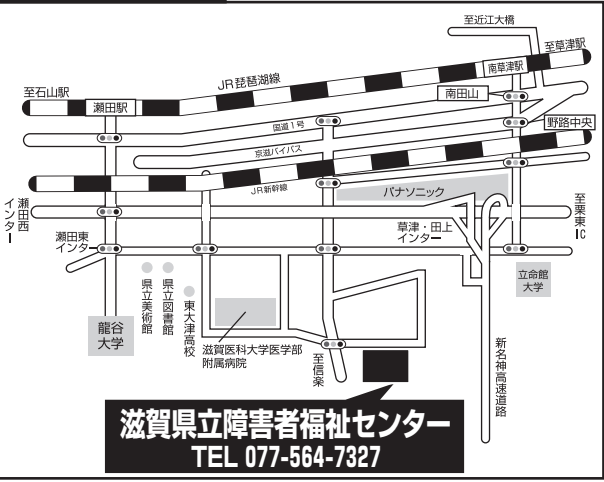
作品搬入・返却会場地図

立体・工芸のみ



■滋賀県立美術館への搬入・返却に自動車を利用される場合は、びわこ文化公園東駐車場出入口(有人ゲート)で搬入・返却の旨、係員にお伝えください。駐車は搬入口前のみとし、終了後速やかに車の移動をお願いします。公園内は時速10km以下で走行願います。

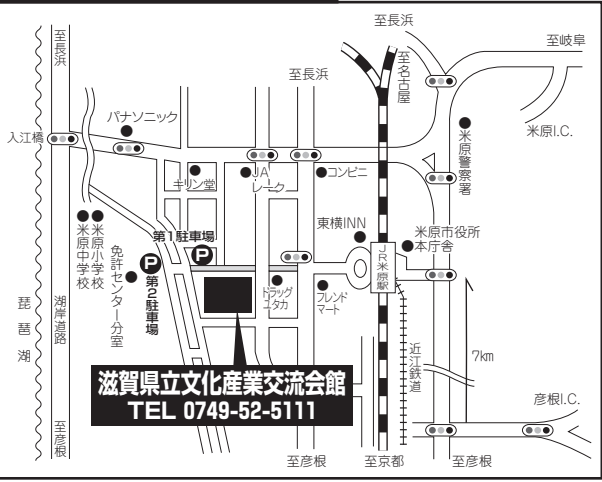
平面・書のみ



■滋賀県立障害者福祉センターでの搬入・返却は、小アリーナで行います。
■自動車で搬入される場合は、正面左手奥の駐車スペースをご利用ください。

【「振替払込請求書兼受領証」をここに貼付してください。】

平面・立体・工芸・書



■滋賀県立文化産業交流会館での搬入・返却は館内のバスポートセンター前で行います。自動車を利用される場合は、正面玄関にも駐車できますが、終了後速やかに車の移動をお願いします。
■米原学びあいステーションには駐車しないでください。

審 査 員 (予 定)

1 平 面	太田垣 實(美術評論家) 中原 史雄(洋画家) 平岡 靖弘(洋画家) 山河 全(洋画家) 渡辺 章雄(日本画家)
2 立 体	篠 雅廣(大阪市立美術館名誉館長) 中原 浩大(美術家・彫刻家) 藪内佐斗司(彫刻家・奈良県立美術館館長)
3 工 芸	猪飼 祐一(陶芸家) 河田 昌之(大阪芸術大学教授) 近藤 卓浪(奈良芸術短期大学准教授)
4 書	足立 光嶽(書 家) 後藤 啓太(書作家) 小林 琴水(書 家)

(敬称略)

※「アートマスター制」を導入しています。

入賞を重ねる出品者の功績を顕彰する目的で、アートマスターの称号を滋賀県芸術文化祭会長名(知事)で授与し、アートマスター認定の翌年から5年間の委嘱発表の場を提供します。

- 「特選」6回以上(連続でなくともよい)の入賞者に対し、委嘱期間5年とします。ただし、第70回展からカウントを開始しています。
 - *「知事賞(第73回展までは芸術文化祭賞)」は特選2回分に換算します。
 - *一人の出品者が異なる部門で入賞された場合、特選数は部門を超えて換算します。
 - *平成28年度の「第70回記念賞」、今年度の「第80回記念賞」は特選2回分に換算します。
- アートマスター出品は審査対象外とします。
- 5年間の委嘱期間終了後は、再び一般出品できますが、アートマスターの称号は永久とします。

審査結果	
------	--

第80回 滋賀県美術展覧会 出 品 票

部 門		受付番号	ふりがな	
1	平 面	※ 県 美 草 津 米 原	命 題	
2	立 体			
3	工 芸			
4	書			
出 陳 番 号	※		氏 名	
			雅 号	
	備 考 (素材等)	平面	岩絵の具、水墨画、油彩画、アクリル画、水彩画、 版画、その他（ ）	
		立体 工芸	（ ） 漆、染、織、陶、ガラス、人形、その他（ ） 技法（ ）	

「書」部門の出品者は、下記に釈文を記入してください。
「平面」「立体」「工芸」部門の出品者で、素材・技法等 備考欄に書き切れない場合は下記に記入してください。

釈文(※作品に書かれている文字を楷書でわかりやすく書いてください。多字数の場合は、別紙にご記入の上、出品票と共に額装裏面の左中段に貼付してください。)

きりはなさないでください

(きりはなさないでください)

審査結果	
------	--

第80回 滋賀県美術展覧会 出 品 票 (副)

部 門		受付番号	ふりがな	
1	平 面	※ 県 美 草 津 米 原	命 題	
2	立 体			
3	工 芸			
4	書			
出 陳 番 号	※		氏 名	

「振替払込請求書兼受領証」を裏面に貼付してください。

第80回 滋賀県美術展覧会 出品申込書 兼 出品規定同意書

滋賀県芸術文化祭会長 宛

令和8年11月27日・28日・29日

出品規定確認		この第80回滋賀県美術展覧会の作品募集案内に書かれている全てのことに同意して申し込みます。 なお、出品する作品は審査を伴う公募の展覧会に既に陳列（Web上の公開を含む）した作品ではありません。また、生成AIを使用して制作した作品ではありません。（左の□に✓を記入してください。）									
□		部門		受付番号		ふりがな		命題			
1	平面	※（記入不要です） 県美 草津 米原		命題		※書の部出品者は、右欄に書き出し5文字を記入					
2	立体										
3	工芸										
4	書										
氏名		ふりがな						年齢			
								(R8.11.29現在) 歳			
雅号		ふりがな						出陳名簿等に記入してほしい 名前に○印をしてください。			
住所		〒		—				電話番号			
								自宅 () —			
								携帯 — —			
学校名		学 校		科		年					
連絡先		*県外在住の方のみご記入ください (勤務先名) (所在地) 市・町									
作品の 寸法等		(号数)		号		備考 (素材等)		平面 岩絵の具、水墨画、油彩画、アクリル画			
		(縦)		メートル				水彩画、版画、その他 ()			
		(横)		メートル				立体 ()			
		(高さ)		メートル				工芸 漆、染、織、陶、ガラス、人形、その他 ()			
		(重さ)		キログラム				技法 ()			

出品料 減免申請 □	滋賀県知事 様 私は平成__年__月__日生まれで、 令和8年4月1日時点において18歳未満ですので、出品料の減免を 申請します。（□に✓をし、__部に年月日を記入してください）
-----------------------------	--

《出品上の注意》

- 申込書兼同意書、預り証、出品票、出品票（副）は正確に記入し、「振替払込請求書兼受領書」の原本またはコピーを「出品申込書」の裏面に貼り付けて出品してください。搬入当日の現金でのお支払いはできません。
- 作品は無梱包のまま出品してください。

審査結果	賞	※	※	入 選	※	選 外
------	---	---	---	-----	---	-----

第80回 滋賀県美術展覧会

出品作品預り証

部 門		受付番号		命 題	
1	平 面	※ 県 美 草 津 米 原			
2	立 体				
3	工 芸				
4	書				
氏 名		様			

上記の作品をお預かりしました。

令和8年11月27日・28日・29日

滋賀県芸術文化祭実行委員会委員長

作品の返却

- 【立体・工芸のみ】 令和8年12月19日（土）
場所：滋賀県立美術館 搬入口
 - 【平面・立体・工芸・書】 令和8年12月19日（土）
場所：滋賀県立文化産業交流会館パスポートセンター前
 - 【平面・書のみ】 令和8年12月20日（日）
場所：滋賀県立障害者福祉センター 小アリーナ
- ※返却時間≪いずれも10時30分～12時・13時～16時≫
12時～13時は受付しません

- （注）○返却には、本書（預り証）を必ずご持参ください。
- 搬入された会場で作品返却を行います。（複数の分野に出品された方はご相談ください。）
- 返却日以外の返却はできません。都合が悪い場合は、あらかじめ運送業者などに委託されるようお願いします。
- 取りに来られない場合は、委託業者から着払いで作品を返却することになります。
- 出品作品の保管、取扱いに関しては十分な注意を払いますが、不慮の災害によるき損、その他の損失に対しては責任を負いません。

きりはなさないでください

作品募集要項

応募資格 県内に在住または通勤・通学する方（中学生以下は除く）

応募部門および作品規格

1. **平 面**（日本画、洋画、版画、その他平面作品）
 - 20号(72.7cm×50cm)以上～100号(162.1cm×162.1cm)以内、厚さ20cm以内。ただし、版画は下限を設けない。（額、マットは作品の大きさに含めない。）展示時の作品の最大寸法はタテ162.1cm、ヨコ162.1cm以内とし、S100号を斜めに展示することはできない。
 - パネル展示できるように裏にはヒモを通し、額装などの配慮をすること。
2. **立 体**（彫刻、その他立体作品）
 - 展示の状態で、2.0m×2.0m×2.5m以内。
 - 手動可能で、展示上、危険でないもの。
3. **工 芸**
 - 平面作品は、たて・よこがそれぞれ2.2m以内（外装を含む）。
 - 立体作品は、重さ40kg以内、たて・よこ・高さの合計が2.4mを超えないこと。また、その一辺が1.5mを超えないこと。
4. **書**
 - 作品仕上げ寸法3m以内（一辺が2.42mを超えないこと。軸表装は不可）篆刻刻字出品可。ただし、大きさは自由で手動可能なもの。
 - 「書」部門の出品者は、出品票下欄に釈文を記入の上、出品票、出品票（副）とともに額装裏面の左中段に貼付してください。

各部門とも、運搬・展示に支障のないものに限り、ガラス入りの額は不可（アクリル板は可）。組作品については、1組で規定内に収めてください。

出品点数 各部門1点

出品制限 審査を伴う公募の展覧会に既に陳列（Web上の公開を含む）した作品でないこと。出品申込者自らが制作した作品であること。ただし生成AIを使用した作品は出品できません。

出品料 作品1点につき1,400円（ただし、令和8年4月1日時点において18歳未満の方については、減免申請欄に記入の上、生年月日がわかる書類（学生証の写し等）を添えることにより700円）。別添の「払込取扱票」に必要事項を記入のうえお支払いください。振込手数料は出品者負担です。不足額があった場合は出品申込ができません。（また、一度払い込まれた出品料は理由を問わず返却できませんのでご注意願います。）

【振込方法】

- 別添の「払込取扱票」の記入例をご確認のうえ、必要事項を記入してください。
- 10月1日から11月25日の間に郵便局窓口・ＡＴＭ等でお振込みください。搬入当日の現金でのお支払いはできません。
- 複数分野に出品される場合は合計額を記入ください。1部門には1作品しか出品できません。
- ◎お振込み後、「振替払込請求書兼受領証」の原本またはコピーを「出品申込書」の裏面に貼り付けてください。

出品手続き ●10月1日から11月25日の間に出品料をお振込みください。搬入当日の現金でのお支払いはできません。

- 出品申込書兼出品規定同意書、出品作品預り証、出品票、出品票（副）に所定事項を記入のうえ、出品申込書の裏面に「振替払込請求書兼受領証」の原本またはコピーを貼り付けて、搬入期日に搬入場所へお持ちください。
- 応募部門には、〇印をしてください。●作品は、梱包しないでください。
- 学校・団体などで、まとめて出品申込書が必要な場合は、（公財）びわ湖芸術文化財団 びわ湖芸術文化交流センターまで申し込んでください。
- 出品にあたっては、指定の出品申込書を使用してください。
- 特殊な展示作品や組作品等については、配置写真・説明図等を添付し、受付に申し出てください。展示方法については、主催者に一任してください。
- 減免を申請される方は、生年月日がわかる書類（学生証等）をお持ちください（コピーでも可）。

作品の搬入 この用紙の表紙に記載しています。

審 査 12月2日(水)【平面・立体】、12月3日(木)【工芸・書】に行います。報道機関に対してのみ公開となります。

審査結果発表 12月7日(月)14時に、滋賀県のホームページで入賞・入選者の氏名を発表します。(https://www.pref.shiga.lg.jp/menu/26188.html)
なお、郵送での審査結果発表は行いません。審査結果をインターネットで確認することが難しい場合は、お電話でお問い合わせください。(077-523-7146)

入 選 入選作品は展示会場で展示します。

入 賞 入選作品のうち優秀な作品には、原則として次の賞を贈呈します。

知事賞（副賞 100,000円）	……………各部門ごと1点
第80回記念賞（副賞 50,000円）	……………各部門ごと1点
金 賞（副賞 50,000円）	……………各部門ごと1点
特 選（副賞 20,000円）・佳作（賞状）	……………各部門ごと数点

特選受賞作品の一部には別に後援および協力団体等の賞が授与されます。その内、滋賀県美術協会理事長賞には副賞（10,000円）、（公財）木下美術館賞には副賞（30,000円）が贈呈されます。
※審査の結果、知事賞に該当する作品がない場合があります。

表 彰 入賞（佳作以上）作品について12月13日(日) 13時から滋賀県立美術館木のホールで行います。

作品の返却 この用紙の表紙に記載しています。

留意事項

- 出品作品の保管、取扱いに関して十分な注意を払いますが、不慮の災害によるき損、その他の損失に対しては責任を負いません。
- 出品申込書に記載の個人情報、結果通知や次回の本展覧会の募集案内についてご本人への連絡に使用させていただきます。また、入賞・入選者については、個人情報の一部を入賞・入選者名簿やホームページ、SNSへ掲載するほか、報道機関を含む関係者へ提供いたしますので、ご承諾のうえご応募ください。
- 入賞作品については主催者が撮影し、その画像の使用権は主催者に帰属するとともに、主催者の広報発行物ならびに報道機関等関係者が無償で使用する場合があります。
- 展覧会場での作品の撮影ならびにSNS等での情報発信については可能とします。ただし、フラッシュや三脚の使用及び商業目的の撮影はご遠慮ください。なお、美術館では動画撮影は禁止されています。
- 会場の都合上、水を使う作品の出品はできません。